

# ハーモニー

2018  
Vol.03

公益財団法人  
日本関税協会  
Japan Tariff Association

## 各支部開催の講演(要旨) ..... 2

海上輸送における円滑な小口貨物の  
取り扱いに関する要望書の提出 ..... 10

### COLUMN

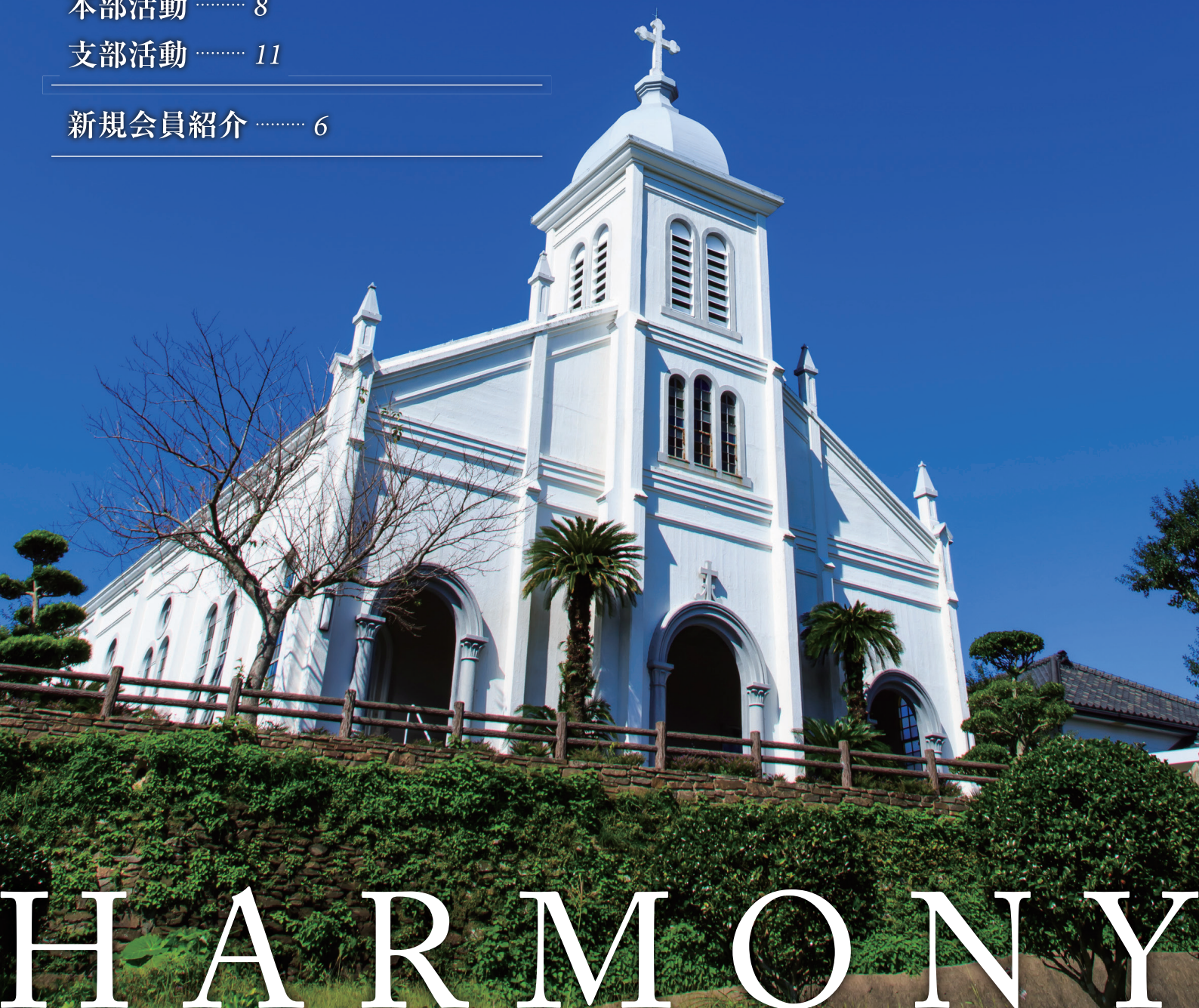
【ブレイクタイム】

“目を見張る必要なことばかり” ..... 7

本部活動 ..... 8

支部活動 ..... 11

新規会員紹介 ..... 6



# HARMONY

## 各支部開催の講演（要旨）

各支部の総会等の場において、行政トップや各界の識者の方々からご講演をいただきました。以下、講演の要旨をご紹介します。なお、講演内容及び講演者の所属等は講演時のものです。

### ■横浜支部 講演会(2018年4月17日)

#### トランプ政権の通商政策と日本の課題 東京大学社会科学研究所 中川淳司

##### トランプ政権の通商政策の背景

トランプ政権発足の際の大統領選で勝敗を分けたのは、五大湖周辺のラストベルトと呼ばれる鉄鋼、自動車等の重工業地帯でトランプ氏が票を得たことである。

グローバル化の時代に、先進国ではオートメーション化等により中間層、特に非熟練労働者の所得が伸び悩み、トランプ氏はこういったラストベルトの労働者にアピールする公約を掲げた。その実行がトランプ政権の通商政策の基本路線となっている。

##### トランプ政権の通商政策の実績と展望

大統領選中は過激な主張をしていたが、政権1年目は比較的穏健な現実路線であり、中国の為替操作国認定等は見送られた。政策の優先項目の多くはWTO協定や国内法に沿ったものではあるが、近年利用されていなかった通商拡大法232条や通商法301条を使い、TPP離脱、NAFTA再交渉、米韓FTAの見直しを打ち出した。

しかし政権2年目は、今年11月の中間選挙を見据え、国内の支持層にアピールする通商政策を展開している。国家安全保障のための鉄鋼、アルミニウム製品の関税引上げ、対中貿易制裁がそうである。

TPPについては、就任直後の2017年1月に離脱が通告されたが、今年1月のダボス会議ではTPP復帰の可能性について言及した。ただし、「良い条件が得られるとすれば」という留保があり、TPP交渉参加国の個別の国またはグループとFTAの交渉をする可能性を示唆している。

NAFTAの再交渉については、米国の近年のFTA、特にTPPに合わせてNAFTAをアップデートしようという意図がみられるが、自動車分野では米国第一主義に基づく提案も含まれている。米韓FTAの見直しを見ると、トラックの関税撤廃期限の延長等、貿易自由化を後退させる内容もあるが、通商拡大法232条による鉄鋼関税引上げの除外を

梃子として交渉を妥結させるというトランプ流の交渉戦術が注目される。

##### 日本の対応

日本はトランプ政権発足後、日米経済対話という枠組みを設け、マクロ経済政策や二国間の貿易に関する枠組み等について協議することとした。

米国のTPP復帰は不透明で、日米FTA交渉開始が求められているが、日本としてはTPP11の発効・拡大を推し進め、米国にはTPP復帰を促しながらも、無理筋な交渉には応じるべきではない。通商拡大法232条の適用除外を見返りとするような米国の交渉戦術には乗らず、通商救済法の積極活用等、個別案件に適切に対応していくべきであろう。



### ■沖縄支部 講演会(2018年5月17日)

#### 最近の税関行政について 沖縄地区税関長 若林仁

##### 水際取締りの状況

2017年の沖縄の観光客数がハワイを超えたとの報道があった。経済効果が期待される一方で密輸増が懸念される。今後、ラグビーのワールドカップ、G20首脳会合、東京オリンピック・パラリンピック等、テロの標的となり得るイベントが続く。税関は人的基盤の整備・強化、顔認証システムの活用、X線検査装置の増設、PNR(乗客予約記録)取得の推進等、さまざまな対策を講じている。

不正薬物の密輸状況も深刻で、今年の覚醒剤の押収量は2年連続で1トンを超えた。また、知的財産侵害物品の差止状況も高水準で推移している。

金の密輸については、脱税額、処分件数ともに急増していて、沖縄ではクルーズ船関係の摘発が多い。来年10月には消費税率が引き上げられることから、早期に終息させなければならない課題であり、「ストップ金密輸」を策定し、取り組んでいる。

##### 関税を巡る国際的な動き

国際的な状況をみると、保護主義的な通商政策やイギリスのEU離脱問題等の動きがあり、EPA等の貿易自由化の動きが拮抗している。

EPAの取り組みでは、広域のものではTPP11、日EU・EPAが発効を目指しているところで、さらにRCEPが交渉中である。

##### 沖縄地区税関を巡る最近の状況

近年、沖縄地区に来るクルーズ船の数が急増している。クルーズ船では一度に大勢の人間が入国するため、通関の一点集中という大きな行政需要が生じる。沖縄県では東洋のカリブ構想を打ち立てており、今後いっそう多くの観光客が訪れると見込まれる。現在、那覇港には那覇クルーズターミナルがあるが、入港が重なりコンテナターミナルに接岸される場合には、税関職員が乗り込んで舷門の狭い場所で通関手続を行っている。旅客に不便な思いをさせており、税関の手荷物検査場等、専用のCIQ施設

の整備が急務である。一方、空のほうは、2009年にANA沖縄貨物ハブが稼働してから、那覇空港の貨物取扱量は大きく伸び、昨年は全国で5位となっている。

那覇空港税関支署の通関部門は基本的に24時間体制を整備している。活用して頂きたい。

離島地区を含む港湾空港整備計画が目白押しだが、観光立国を実現するためにも、円滑な出入国と厳格な水際取締りが必要で、それには最適な人員配置や組織の整備が必要である。

管内の貿易統計は、輸入超過で推移しているが、国際貨物ハブ開始後は食料品、飲料の輸出が急増した。今後とも県産品の輸出が伸びることが期待される。



## ■大阪支部 講演会(2018年6月6日)

## 2020年問題とグローバル・ビジネス 岐阜聖徳学園大学経済情報学部 大学院経済情報研究科教授 河野公洋

## 極めて急激な人口減少

日本では、団塊世代がこれから70歳を超え、後期高齢者に入っていくと多死の時代を迎える。少子化も顕著になり、2020年には、20歳人口も最盛期の3分の2まで減少し、以降は減り続ける一方である。

このような人口減少時代にあって、企業のヒューマン・リソース・マネジメント、いわゆる人的資源管理も変化してきた。宿泊・飲食関係の「サービス業」を筆頭に、「運輸」、「建設業」の人手不足は深刻な状況である。それを補っているのが外国人労働者であり、ここ数十年間、在留外国人数は増え続け、昨年、256万1,848人となっている。そのうち、就労外国人は、2017年10月末時点で127万8,670人もおり、これだけの人が日本のビジネスの底支えをしているのである。

日本の人口構造は、1995年から、生産する人口よりもそれにぶら下がる子供や高齢者が多い「オーナス期」に入っている。こうし

た経済的に厳しい状態を止めるため、アメリカやフランスのように、移民を受け入れるのが得策であろうか。これには様々な課題もある。欧州の学生デモからも分かるとおり、外国人の増加により、新卒の若者が希望する職に就けないこともまた悩みの種である。

## メイドインジャパンに需要あり

国際商取引は、これまで、企業間の貿易から多国籍企業の国をまたがった社内取引や、親子間取引、企業の本支店間取引に大きく変化し、変革の時期を迎えている。昨年1年間に、中国人が日本のインターネットで個人購入した額は1兆円を超えており、チャンスさえあれば、日本からモノを買いたい人は大勢いる。特に富裕層は日本の高性能なものを求める傾向にある。フィリップ・コトラー氏も『マーケティング 4.0』の中で示すとおり、日本製品にはおもてなしの精神があることから、他国の製品に比べ、購入者がリピーターになる特性があるという。そう

した特性はぜひ活かしていくべきである。

## 市場は作るもの

2018年は明治維新から150年という節目の年である。世界有数の長寿企業国である日本では、今年創業100周年を迎える企業が1,760社にも及ぶ。世界で100年以上の歴史を持つ企業の実に80%が日本企業なのだ。日本製品の復権の例として、日本酒の輸出が昨年注目されたが、2020年問題と市場の縮小ばかりが叫ばれる今こそ、市場が無く、失いつつあるという常識を壊し、「これから何をつくって、どこに売っていくのか」、リタイア前の団塊世代の方の技術や知恵を拝借しながら真剣に考えていく時であろう。



## ■名古屋支部 講演会(2018年6月7日)

## 最近の国際物流のトピックスについて 東海大学海洋学部 石原伸志

## 申告官署の自由化が通関業界に与える影響

昨年10月から始まった申告官署の自由化だが、その影響として、通関業界には、通関時の検査立会い、これまで不要だった特定地域への通関士の設置への対応に迫られている。コスト削減、労働力の確保、セキュリティが求められる中での通関士の地位向上といったさまざまな問題点を踏まえた上で、通関業界では付加価値の創造、グループ化や再編を図っていく必要があると考えられる。

## 貿易手続等に関する官民協議会での検討事項

貿易手続等に関する官民協議会では、主にCYカットの短縮と港湾の混雑緩和について議論された。

港湾の混雑は名古屋港では特に問題となっていないが、東京港は深刻で、CYゲート前での平均待機時間は1時間、待機場から入ってくると、ひどい時には7～8時間と平

気で待たされる。東京港ではキャパシティを超えた貨物に対応するために、名古屋の飛島の自動化ターミナルの事例や博多のHiTSのシステムを使ってIT化、合理化が考えられている。

CYカットに関する現状では、日本では書類、貨物ともに土日を含まないで、本船入港3日前の16時半となっている。荷主が貨物情報を紙やPDFで送ってくる場合、船会社で無償で代行入力をしている。このデータチェックは目視で行っていて、ここで起こる情報の不備はNACCSでは検知できない。CYカットを短縮するには、いま述べたような作業をどうにかしなければならないが、さらに提出する貨物情報に含まれるコンテナ番号とシール番号がコンテナをピックアップするまで分からないという問題もある。

このコンテナ番号とシール番号を知るためにコンテナを早めに引き取って、CYの搬入を遅らせることになると、シャーンのまま

寝かせることとなり、そのシャーン代はどうするかという新たな問題が発生する。

そこで、4つの案がまとめられた。情報2日前・貨物1日前、情報3日前・貨物1日前、情報・貨物ともに2日前、従来の情報・貨物ともに3日前といったもので、今後はこれに基づいて業界として動くことが求められた。

## 商法(運送・海商関係)の改正

今回、現在の国際複合運送を踏まえて改正されたが、新たに国際複合運送証券、海上運送状、航空運送、複合運送についても規定された。しかし、商慣習化しているサレンダーB/Lについては、その利用をやるよう意見があったものの、未だ判例がないとの理由から今回での改正では見送られた。



### ■函館支部 講演会(2018年6月7日)

#### 訪日外国人旅行者急増への対応と金地金の密輸入に関する最近の動向 函館税関長 牧谷 邦昭

##### 訪日外国人旅行者の急増

管内空港を利用する入国者数は近年急増している。特に、新千歳空港ではその傾向が顕著であり、直近5年では約3倍ほどの増加となっている。クルーズ船の平成29年における入港隻数は81隻ということで、前年、前々年と比べて増加しており、平成30年も更に増加することが見込まれている。

訪日外国人旅行者の増加を受け、新千歳空港の国際線旅客ターミナルビルの増築や函館港のクルーズ船対応岸壁の工事等、管内各地の空港・港湾施設においてインフラ整備が伸展している。

また、国際観光旅客税が創設される。国際観光旅客税は、出国1回につき1,000円を納付するもので、平成31年1月7日から適用開始となる。これにより、平成30年度の予算としては60億円の歳入を試算しており、税収の税関関係の主な使途として、検査場における電子申告ゲートの設置等、ストレス

フリーな旅行環境の整備を行っていくことを考えている。

税関においては、人員及び取締・検査機器を効果的に活用し、迅速な通関を実現することで、訪日外交人旅行者の増加に対応する方針である。取締・検査機器の具体的なものとしては、顔認証カメラやTDS、パスポートリーダーがあり、これらの活用を通じて密輸やテロ対策に向けた取締りを強化していく。

##### 金地金の密輸入

価格の高騰を背景に、金地金の密輸入が急増しており、平成29年における押収量は全国で約6トンとなっている。輸出量が急増する一方で、輸入量が減少している状況に鑑みると、押収量約6トンという数字は限定的であり、税関が水際で摘発している密輸入は氷山の一角である可能性が高い。

函館税関における金地金密輸入の摘発件数は17件(前年比約5.7倍)、押収量は40

キログラム(前年比約3.3倍)となっており、前年から大幅に増加している。密輸の形態は全て航空機旅客によるものであり、仕出国別に見ると、香港と台湾で全体の8割以上を占めている。

また、金地金の密輸入が増加する中において、密輸入の手口が極めて巧妙化・多様化してきている傾向にある。摘発事例としては、ベルトのバックルに塗装を施して隠匿した事例やモバイルバッテリーに隠匿した事例が挙げられる。

このように深刻化する密輸入に対して、各税関では、「検査の強化」、「処罰の強化」、「情報収集及び分析の充実」といった三つの柱を掲げる「ストップ金密輸」緊急対策に基づき、対策を強化している。



### ■門司支部 講演会(2018年6月11日)

#### 内外経済情勢と地域経済の現状等について 日本銀行北九州支店 前支店長 緒方 公一

##### 海外経済情勢

IMFの予測によると、世界経済の成長率は、米国や中国、EUでの減速が見込まれるものの、インドや南アメリカ、中東といった国・地域が経済を牽引していくことで、全体としては、過去の平均成長率を若干上回る水準で、緩やかに拡大していくことが見込まれる。

また、貿易については、リーマンショック後に貿易量が落ち込んだ状態から回復傾向にあるものの、スロー・トレードと呼ばれる状況が解消したとは言えない状況である。スロー・トレード発生の背景としては、世界的実質GDP成長率の低下やグローバル・バリューチェーンの拡大一服、そして、保護主義政策の高まりなどが挙げられる。

##### 国内経済情勢

日本経済はどうかというと、世界経済と同様に緩やかな拡大が続いている。

統計上、国内企業の利益率(売上高に

対する営業利益や経常利益の比率)はかなり高い水準にあり、設備投資の増加も伴っている。個人消費も増加しているものの、設備投資は伸びていないのが現状である。これは、人手不足が顕著ながらも、一人当たりの賃金が増加していないことが一因であり、今後、賃上げ等が行われれば、個人消費が促され、景気の拡大感がより鮮明になってくるものと考えている。

また、物価の動きが弱いことも、現在の国内経済の特徴である。ただし、2017年以降は需給ギャップがプラスになってきていることから、物価も後追いする形で上がっていくことをシナリオとして考えている。

##### 地域経済の動向

九州全体と北九州地区の主な経済動向は似通っており、全体的な景気の判断としては、緩やかに拡大していると言える。輸出や生産は高水準で推移しており、また、業況判断DIもバブル期や高度経済成長期ほ

どでないが、全国を若干上回る水準となっている。人手不足感がある一方で、雇用者所得があまり伸びていない状況は国内全体の傾向と同様である。

地域経済の課題は、地方創生のフレームワークでも示されているように、人口の減少に歯止めをかけることである。九州全体では人口が減少しており、マイナス成長になるとの推計結果も出ている。東京一極集中の是正はハードルが高いことから、中長期的な対応として、労働生産性を向上させるとともに、女性や高齢者の労働参加を促すことで、経済規模の縮小を招かないことが必要となる。北九州の労働力には引き上げの余地があり、潜在的な労働人口を確保することで、マイナス成長の回避に繋がると推計している。



## ■神戸支部 講演会（2018年6月12日）

## 関税政策・税関行政について 神戸税関長 御園生功

## 管内の貿易の状況

神戸税関管内全体も神戸港も輸出型の港であるが、昨年の管内の貿易は、輸出、輸入ともに大幅な伸びを示し、2兆2125億円の輸出超過となった。

品目別では、輸出では鉄鋼、エクスカベーター、ブルドーザー等の建設用・鉱山用の機械、リチウムイオン電池等の輸出額が増加した。輸入では、価格要因により、金属鉱、石炭、原油等の輸入額が増加した。

## いっそう増す水際取締りの重要性

近年の外国人旅行客増加や、今後行われるG20首脳会合、ラグビー・ワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等への対応のために、税関では人的基盤、X線検査装置等の物的基盤の整備・強化、PNR（航空機乗客予約記録）等の情報活用によって対応を強化している。

また、不正薬物の密輸については、覚醒剤の押収量が2年連続で1トンを超え、深刻

な状況である。最近、その手口も巧妙化・悪質化していて、税関ではTDS（不正薬物・爆発物探知装置）、埠頭監視カメラ、大型X線検査装置、麻薬探知犬等、さまざまな手段を駆使して取り組んでいるところである。

また、知財侵害物品の輸入差止件数も高い水準にある。知的財産別では、商標権侵害品が最も多く、さらに健康・安全を脅かす医薬品や美容用品も散見され、権利者の経済活動だけでなく、国民の健康・安全を守るためにも、水際取締りの重要性はいっそう増してきている。

金の密輸も大きな問題となっているが、その形態が多様化している。税関では、検査の強化、処罰の強化、情報収集・分析の充実といった取組みを行っている。

## 最近の関税政策

アメリカが安全保障を理由に行っている鉄鋼とアルミニウムの関税引上げ、そしてアメリカが主な標的と見ている中国の対抗措

置等、世界的な保護主義な動きへの懸念がある。

国際物流が飛躍的に増加する中で、貿易の円滑化とセキュリティ確保の両立が課題となっている。NACCS等のシステムの活用やAEO制度の整備を推進しているが、昨年10月にはAEO事業者については申告官署の自由化制度を導入した。

最近のEPAは、TPP11、日EU・EPA、RCEP等、マルチのものが多く、企業のサプライチェーンが複数国にまたがる状況に適したものとなっている。特に日EU・EPAは発効すれば世界貿易の約37%、人口約6.4億人という巨大な経済圏が誕生することとなり、日本企業の欧州進出を促進するものとなるであろう。



## ■長崎支部 講演会（2018年6月15日）

## 気候変動問題の動向

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター理事長 関 荘一郎

## 化石燃料文明の転換期

産業革命から250年。地球の46億年の歴史の中ではほんの僅かな期間だが、人類は石炭、石油等の化石燃料を利用して近代文明を構築し繁栄した。その一方で、CO<sub>2</sub>の排出量は急増し、気候変動問題に直面している。化石燃料文明はまさに転換期を迎えている。

## 気候変動問題への取り組み

気候変動問題への対応は世界共通の課題である。国際ルールで排出抑制や適応対策が進んでいるが、経済の仕組みや投資のあり方までもが変わってきている。

現在の世界の平均気温は、産業革命の頃と比べると既に1度上がっている。IPCCのレポートでは、今のまま何も対策をとらないと、今世紀末には2.6度から4.8度上昇し、十分な対策をとったとしても、0.3度から1.7度は上昇してしまうとの試算である。

気候変動問題は、国の利害が複雑に絡

むため、国際交渉は困難を極める。まず、気候変動枠組条約が1992年に合意され、97年に先進国が排出削減する京都議定書が採択された。そしてようやく2015年に途上国も含めた全ての国が参加するパリ協定が採択され、翌2016年11月に発効した。パリ協定のポイントは、世界の平均気温の上昇を2度以内に抑える「2℃目標」である。また、先進国だけでなく、途上国も削減目標を設定し、対応をとることである。日本は、2030年までに温室効果ガスの26%の排出量削減目標を公約し、さらに長期的な戦略として2050年までに80%の排出削減を目指す方針だ。それには再生可能エネルギーの拡大も重要で、ここ長崎で実証された浮体式洋上風力発電も有望視される。

## 環境に配慮する企業は繁栄する

最近、ESG投資が急速に拡大している。Environment、Social、Governanceの略だが、この三つをうまく取り込んでいる企業が

永続的に発展していくと考える投資家が増えているのだ。2016年の世界全体の投資額のうち、ESGを配慮した投資は、実に26.3%にも及んでいる。環境に配慮した企業は今後発展するが、それに沿った経営方針を持たない企業は必ずどこかで行き詰まるであろう。

グテーレス国連事務総長も言ったように、石器時代は石が枯渇して終焉したのではない。我々も石油や石炭が枯渇して化石燃料時代が終焉するのを待つべきではない。豊かな生活や社会を今後とも維持するためにも、環境的な様々な制約の中でどのようなビジネス、産業社会のあり方が良いのか真剣に考える時代になったのではないのか。



■東京支部 講演会(2018年7月20日)

海外事業成功のためのグローバル・ビジネスリスクマネジメント コンサルビューション株式会社代表取締役社長 高原彦二郎

グローバルビジネスの特徴

グローバルリスクには地理的境界がなく、その地域に直接進出していなくても影響を受ける。海外子会社がグローバルリスクへの対応を誤れば、それが日本本社にも影響を与えることとなる。

特に途上国では外部経営環境リスクとしてその固有のリスクがある。また近年では、グローバルな政治・経済・安全保障の問題の影響が大きくなっている。

クライスマネジメント

実際に危機的な状況が起きたときにどうするかはクライスマネジメントだが、まずは即時に正しい情報を入手することである。そのためには、普段からのナショナルスタッフとのコミュニケーションが欠かせない。

そして脱出計画等を策定する場合には、誰から情報を収集するかが重要になる。また、その情報の判断には、文化・風習を知ることが重要である。

リスクマネジメントの有効性の担保

リスクは潜み、変化し、繰り返し、連鎖し、そして対応しなければ増加する。リスクに対応するには、リスク感性の醸成、リスク直視とバイアス排除、リスク発見・管理、外部環境への適応が必要となってくる。

そして、実際に起きたリスクを分析し、リスクを最小限に減らし、自分たちが強くなるにはどうすべきかを分析・研究することがリスク感性を鍛えることになるだろう。

人間は得より損に強く反応し、ビジネスにおいては、リスクテイクによる利益追求よりも、目先の損を避け、現状維持のバイアスがかかってしまいがちである。自社の組織・人間は安全・安心という感覚を持つことが多い。必要な投資やメンテナンスを怠ると、それが大きな損失にもつながる。

また、海外子会社のガバナンスではその対象が日本とは違うので、価値観や社会の構成も異なるということに注意しなければならない。

らない。

グローバル環境変化

今後のグローバルリスクは政治・安全保障リスクと経済・金融リスクが融合していく。その背景には米国の力の低下によるグローバル・ガバナンスの破綻がある。米国は安全保障戦略として、経済・金融、インテリジェンスと法執行の関与を強めようとした。

グローバル化のバリエーションとして、本来の国家主権が超国家の機関等にとって代わられる現状がある。戦後続いてきた関税引下げも、報復的な関税の応酬等、今後どのように変わっていくかは不透明である。そういった中でさまざまなリスクを受け止める感性がますます重要となる。



新規会員紹介

[東京支部]



株式会社近鉄コスモス

- 代表者＝代表取締役社長執行役員 會川 真也
- 事業内容＝BPO事業、ロジスティクス事業、人材派遣事業他
- 本社住所＝〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9 KEC銀座ビル3F
- TEL＝03-5148-3570
- FAX＝03-5148-3580
- HP＝<http://www.k-cosmos.co.jp/>

当社はグローバル・ロジスティクス・プロバイダーである近鉄エクスプレス(KWE)グループにおける、人材戦略とオペレーションの体制構築を担う企業です。人材サービス・ロジスティクスの分野の他、広範囲にお客様のビジネスをサポートしています。これまでの経験を通じて培われた高い専門性とノウハウを駆使して、お客様の現場の皆様に「オンリーワン」のサービスをご提供致します。

[横浜支部]



COLD WAVE株式会社

- 代表者＝代表取締役社長 田巻 治郎
- 事業内容＝コンテナ配送、通関業
- 住所＝〒231-0023 神奈川県横浜市山下町279番地 横浜航空貨物ターミナル別館301号室
- TEL＝045-662-5578
- FAX＝045-662-5588
- HP＝<http://www.cold-wave.co.jp/>

COLD WAVE(コールドウェーブ)は、横浜を拠点とし、安心、安全なリーファーコンテナ輸送によって、お客様の大切な商品を輸送いたします。またリーファー扱い(青果)の通関業も行っております。

[名古屋支部]



SK Materials Japan株式会社

- 代表者＝代表取締役 朴 鍾興
- 事業内容＝半導体、ディスプレイ製造用の特殊ガス販売等
- 本社住所＝〒510-0874 三重県四日市市河原田町溝東1077-24
- TEL＝059-349-5800
- FAX＝059-349-5801

当社は、韓国にある世界No.1生産量及びシェアの三フッ化窒素(NF3)製造メーカー「SK Materials Co.,Ltd」が出資し、日本の半導体・液晶パネル・太陽電池パネル製造向けの国内供給拠点会社として2010年に設立されました。弊社貯蔵庫は、高圧ガスの第一種貯蔵所としてこれらの工場向け「三フッ化窒素」、「モノシラン」の保管・管理をしております。本年6月には保税蔵置場の許可を取得し、より安定供給を目指しています。

“このクソ暑さ 一体どうなっているんだ!”と怒鳴りたくなるような猛烈な暑さが矢鱈続いている。今年のこの猛烈な暑さはなんと7月早々から始まった。最高気温が35度以上の猛暑日が、今も日本全国のあちこちで頻繁に発生する異常な状態が続いている。観測史上最高気温の記録を更新したところも、数えきれないほどだ。北米や欧州でも異常高温が発生しているというから、“地球温暖化”の仕業なのかも知れない。これに伴い心配なのが熱中症、注意放送は頻繁で死者数も例年の数倍に達しているらしく、同時にこの関連での救急車の出動回数も激増しているとのこと。

\* \* \* \* \*

8月5日からこの猛暑の中で繰り広げられたのが、夏の甲子園『全国高校野球大会』だ。今年はなんと100回目の記念大会だそうで、例年の49校のところ学校数の多い地域を増やして初めて56校が参加して優勝が争われた。高校野球はいつものことながら最後の最後まで結末の予測が付けられず、そういったところがプロ野球やMLBとは違った面白みを提供しているということではなかろうか。今大会も随所に大逆転劇があったりして、観衆の目を引き付けた。最後の優勝決定戦では大阪桐蔭（北大阪）が圧倒勝ちし、今回新調された優勝旗を獲得した。ただ、優勝を争った金足農（秋田）はチーム全員が地元出身者による公立校で注目を集め、何かしら新鮮さや爽やかな感動を与えてくれたように思う。

\* \* \* \* \*

「終戦の日」は先日の15日、例年通り日本武道館において『全国戦没者追悼式』が開かれた。そこでは毎回天皇陛下がおことばを述べられているが、来年4月に退位されるので今回が平成の最後となった。いつもの陛下のおことばには、心を込めて全体を丁寧な表現で構成されているが、今回は「戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ」の一節が加えられ、在位中最後の追悼式で平和が長く維持されてきたことへの思いをにじませられた。それだけ陛下は、平和への思いの強さを強調したかったのではなかろうか。このところの世の中、陛下の平和へのお気持ちとは逆方向のような事象が目につくから心配だ。

\* \* \* \* \*

国際的にはカンボジア、トルコをはじめ過激な動きがあちこちで見られるから、平和への不安材料がないとは言えない。国内でも先般大問題となった日本ボクシング連盟の山根会長辞任劇も似たような性質ではなかろうか。専制君主めいた人物の好き勝手を許してしまうと、こういう結果になるということだろう。一般的に権限や権力を集中するとロクなことにならないのが常、「権力は腐敗する。絶対的権力は絶対に腐敗する」というイギリスの思想家の言葉もある。ちょっと違和感、危機感を覚えるような現象に対ししっかり見届けておくことが必要だろう。また只今はカンボジアでのアジア大会を見届けなければならない、さらに今年は冒頭の残暑がまだまだ続き台風の当たり年でもあるようなので気象情報にもこまめに目を見張らなければなるまい。



## 本部

### ■主な活動

#### 【2018年6月】

##### 貿易実務研究部会(第665回)

[6.11/於:学士会館(東京)]

◎「成田国際空港の現状と今後の展望 開港40周年を記念して」

##### 教育セミナー「実地研修 東京港」

[6.15/於:東京港(東京)]

東京港の税関業務、通関手続の流れを理解する見学会です。午前は、東京税関本関での概況説明、通関事務室、広報展示室を見学。その後、東京税関城南島コンテナ検査センターにて大型X線検査装置等の説明を受け税関の監視取締りの様子を見学しました。午後は、大井ふ頭コンテナターミナル3号4号バースに移動し、コンテナの流れや荷役の様子を見学。最後に東京税関青海コンテナ検査センターに移動し、開披検査場を見学しました。首都圏を支える東京港の海上貨物の一連の流れについて理解を深めた実地研修を開催。東京支部との共催です。



##### AEO研修

[6.18/於:連合会館(東京)]

AEO事業者が必要とされる通関手続、関税分類、関税評価及びAEO制度のセキュリティ・コンプライアンスについて、事例解説も含めて研修を行い、36名(満員)が参加しました。

##### 教育セミナー「中国の通関と貿易—その現状と問題点—」

[6.19/於:連合会館(東京)]

初めて対中国貿易に従事する事業者に向けて、中国貿易・通関に係る特殊で難解な制度・枠組みや手続を解説。また中国進出後を想定した、中国国内での物流事情、保税制度の活用法についても解説しました。



##### 教育セミナー「実地研修 成田国際空港」

[6.21/於:成田国際空港]

成田空港における航空貨物の通関手続の全体の流れを体感する見学会です。午前は麻薬探知犬訓練センターにて麻薬探知犬の訓練の様子を見学し、午後は東京税関成田航空貨物出張所にて通関手続のレクチャーを受けた後、動物検疫所成田支所・植物防疫所成田支所にて検疫の現場を見学しました。最後に貨物地区内保税蔵置場を見学し、貨物現物の流れについて理解を深めました。東京支部との共催です。

##### 教育セミナー「貿易実務 基礎編」

[6.25/於:連合会館(東京)]

貿易取引の枠組みや全体の流れを一日で理解するための講座です。信用状取引、貿易取引の条件(インコタームズ)、輸出・輸入実務の流れ、貨物海上保険、代金決済等、貿易実務に係る手続と書類の一つ一つを俯瞰的かつ網羅的に解説しました。



##### 教育セミナー「基礎から振り返る貿易実務」

[6.28-29/於:連合会館(東京)]

二日間で貿易実務について基礎から振り返り、幅広い「貿易実務」の全体を捉え直すことで、応用力を身につけていただくための講座です。貿易実務には欠かせない各種書類の見方の解説だけでなく、実際に書類を作成する演習まで含まれており、日常業務に直結する講座です。



##### 《CIPIC》

##### 権利者企業訪問

[6.4/於:ヨネックス(株)(東京)]

留学制度により知的財産法及び経営管理を勉強している外国税関職員に対し、勉強の一環として権利者企業訪問を実施しました。

#### 【7月】

##### 貿易実務研究部会(第666回)

[7.6/於:学士会館(東京)]

◎「貿易手続に係る貨物の滞留時間の短縮化の実現について」

##### AEO研修

[7.9/於:福岡県中小企業振興センター(博多)]

AEO事業者が必要とされる通関手続、関税分類、関税評価及びAEO制度のセキュリティ・コンプライアンスについて、事例解説も含めて研修を行い、15名が参加しました。

##### 教育セミナー「検証:中国貿易と通関(輸出編)」

[7.9/於:連合会館(東京)]

中国から日本への輸出に焦点を絞り、輸出通関の流れから加工貿易制度や増値税、原産地証明など特殊で難解な中国貿易の仕組みについて具体的に解説しました。



##### 教育セミナー「検証:中国貿易と通関(輸入編)」

[7.10/於:連合会館(東京)]

日本で中国からの輸入業務に携わる方々へ、中国の輸入通関の流れから輸入管理制度・法令、輸入後の保税・物流制度の特徴にまで踏み込んだ講座です。

##### AEO検討会

[7.11/於:関税協会会議室(東京)]

##### 教育セミナー「貿易実務 基礎編」

[7.12/於:新梅田研修センター(大阪)]

貿易取引の枠組みや全体の流れを一日で理解するための講座です。信用状取引、貿易取引の条件(インコタームズ)、輸出・輸入実務の流れ、貨物海上保険、代金決済等、貿易実務に係る手続と書類の一つ一つを俯瞰的かつ網羅的に解説しました。大阪支部との共催です。



**教育セミナー「貿易取引の英文レター」**

[7.17/於:連合会館(東京)]

貿易取引の仕組みを解説した後、実務で使われている貿易における英語の基本用語やイディオム、言い回しなどを解説しました。基本的な表現を活用し、オファーや見積書、船積書類を演習形式で作成。貿易実務に欠かせない英文での書類作成について、日常業務に活かせる講座として講義が展開されました。

**HS勉強会(第1回)**

[7.23/於:関税協会会議室(東京)]

HS条約に関心を有する学識経験者や法律関係者等の要望に基づき、HS条約の概要、品目分類のルール、解釈及びHS委員会の採決・各国のHS分類に関する判例についての勉強会を行いました。

**要望書提出**

[7.24/於:財務省関税局]

下関市、下関港湾振興団体連合会と連名で、海上輸送における円滑な小口貨物の取り扱いについての要望書を財務省関税局に提出しました(P.10参照)。

**教育セミナー「貿易実務 金融編—外国貿易為替—」**

[7.26/於:連合会館(東京)]

貿易実務の中でも最も難解と言われる外国為替について、信用状(L/C)取引を起点に、代金決済、保険条件、外国為替、直物・先物相場等を網羅的に解説しました。

**教育セミナー「通関手続 入門編」**

[7.30/於:新梅田研修センター(大阪)]

貿易業務・通関手続業務に初めて携わる方を対象に、輸出入通関手続に係る基本的な関税制度の留意点について解説しました。大阪支部との共催です。

**《CIPIC》****識別研修**

[7.20/於:東京税関(東京)]

権利者企業6社の協力によりブース形式の識別研修(6社がブースを設け、参加した税関職員が各ブースを訪問し真贋識別方法の研修を受ける)を初めて実施しました。

**東京都中小企業振興公社セミナー**

[7.27/於:東京都中小企業振興公社会議室(東京)]

中小企業社員を対象に税関の知財取締り制度と模倣品の摘発状況を説明しました。

**【8月】****教育セミナー「ステップアップ貿易取引」**

[8.2/於:連合会館(東京)]

スムーズな貿易実務を遂行するために貿易取引の仕組みを深く理解するための講座です。商社、フォワーダーで勤務された講師による解説で商社側とフォワーダー側の体験談を交えながら貿易実務の問題点、国際航空貨物輸送等について理解を深めました。

**貿易実務研究部会(第667回)**

[8.7/於:学士会館(東京)]

◎「国際コンテナ戦略港湾政策とアジア広域集貨について」

**2018年度 通関士養成通信教育講座 特別答練(通関実務)開講**

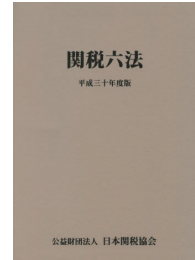
[8.4-8.5/於:連合会館(東京)]

通関士養成通信教育講座受講生のうち、通関士試験第3科目(通関実務)対策の希望者60名を対象に二日間の特別答練を実施しました。

**『関税六法(平成30年度版)』発行**

[8.15]★会員配付

貿易・通関手続に関する主要な法律を網羅・収録。コンプライアンスが叫ばれる昨今、貿易関係者必須の一冊です。



定価:本体9,000円+税

**『関税関係基本通達集(平成30年度版)』発行**

[8.15]★会員配付(会員版は税関様式集はありません)

関税三法を始めとする関税関係の基本通達、税関様式及び様式の記載要領を収録。



定価:本体9,300円+税

**『関税関係個別通達集(平成30年度版)』発行**

[8.15]

基本通達にも収まらない特殊事例及び各種制度の具体的な手続き等を知ることができます。



定価:本体6,200円+税

**「第19回全国通関士模試」**

[8.26]

本試験さながらの緊張感の中、全国11会場でおおよそ1,300人が受験しました。

**教育セミナー「貿易取引の英文レター」**

[8.29/於:新梅田研修センター(大阪)]

貿易取引の仕組みを解説した後、実務で使われている貿易における英語の基本用語やイディオム、言い回しなどを解説しました。基本的な表現を活用し、オファーや見積書、船積書類を演習形式で作成。貿易実務に欠かせない英文での書類作成について、日常業務に活かせる講座として講義が展開されました。

**教育セミナー「インドの通関制度・AEO制度」**

[8.31/於:TKP神田ビジネスセンターANNEX(東京)]

近年注目を集めているインドに焦点を絞り、インドにおける通関手続や、刷新されたAEO制度、新たに導入された物品サービス税(GST)も含めて、インド税関の担当官を交えて解説しました。



## 《CIPIC》

### 発明推進協会依頼の研修

[8.17/於:関税協会会議室(東京)]

発明推進協会の依頼により、ケニアからの留学生に対し模倣品対策の水際措置を説明しました。

## ■今後の予定

### 【9月】

#### 「2018年度オンライン通関士模試」

◎公開期間2018年9月4日(火)～2018年10月12日(金)

◎受験料:5,000円+税

#### 貿易実務研究部会(第668回)

◎開催日:2018年9月5日(水) ◎会場:学士会館(東京)

◎「2018年版不正貿易報告書を受けた経済産業省の取組方針について」

◎講師:経済産業省通商政策局通商機構部国際経済紛争対策室 総括補佐 松本 泉氏

#### HS勉強会(第2回)

◎開催日:2018年9月6日(木) ◎会場:関税協会会議室(東京)

#### AEO研修

◎開催日:2018年9月10日(月) ◎会場:神戸国際会館セミナーハウス(神戸)

#### 教育セミナー「貿易実務 基礎編」 09:30～17:00

◎講師:曾我しのぶ氏

◎開催日:2018年9月12日(水) ◎会場:連合会館(東京)

◎受講料:賛助会員14,000円+税/一般:21,000円+税

#### AEO事業者連絡協議会九州地区分科会

[9.14/於:福岡県中小企業振興センター(博多)]

#### 教育セミナー「輸出通関手続」 13:00～17:00

◎講師:浦井茂穂氏

◎開催日:2018年9月20日(木) ◎会場:連合会館(東京)

◎受講料:賛助会員8,000円+税/一般:12,000円+税

#### 教育セミナー「輸入通関手続」 13:00～17:00

◎講師:浦井茂穂氏

◎開催日:2018年9月21日(金) ◎会場:連合会館(東京)

◎受講料:賛助会員8,000円+税/一般:12,000円+税

#### 教育セミナー「貿易取引のリスク対策」 9:30～17:00

◎講師:曾我しのぶ氏

◎開催日:2018年9月26日(水) ◎会場:連合会館(東京)

◎受講料:賛助会員15,000円+税/一般:22,500円+税

#### AEO検討会

◎開催日:2018年9月28日(金) ◎会場:関税協会会議室(東京)

## 《CIPIC》

### インドネシア税関職員による知的財産水際措置に関するセミナー

◎開催日:2018年9月27日(木) ◎会場:連合会館(東京)

## 要望書「海上輸送における円滑な小口貨物の取り扱いについて」を財務省関税局へ提出しました

2018年7月24日、下関市港湾局、下関市港湾振興団体連合会及び日本関税協会は、財務省関税局に対して要望書「海上輸送における円滑な小口貨物の取り扱いについて」を提出しました。

近年、国境を超えた電子商取引(越境EC)が増加しており、特に中国における市場規模の拡大は著しく、中国の消費者が越境ECで日本から商品を購入した総額は2017年で1兆3千億円を超え、2020年代初頭には3兆円に達すると推測されています。日本企業が越境ECでの一層の国際競争力を確保する上で重要となる物流コスト削減の観点から、日中間の国際定期RORO航路による輸送増大を目的とした、小口海上貨物に対する迅速通関の要望を行いました。

提出の様子は以下の通り。

1. 日時:2018年7月24日(火) 午後1時30分～50分
2. 場所:財務省関税局会議室
3. 先方:  
和佐健介(財務省関税局業務課長)

正海伸幸(関税評価専門官)  
南沢邦保(事務管理室課長補佐)  
板垣和憲(通関係長)

#### 4. 当方:

工藤健一(下関市港湾局長)  
津野貴史(下関市港湾局振興課長)  
田中万平(日本関税協会専務理事)  
松本 敬(日本関税協会調査研究部長)

#### 5. 要望書提出の様式:

工藤港湾局長より要望書の概要を説明した後、意見交換が行われた。



## 函館支部

### ■主な活動

#### 【2018年5月】

##### 釧路地区協議会定時総会及び講演会

[5.10/於:ANAクラウンプラザホテル釧路]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:函館税関総務部長 中洲亨氏

##### 札幌地区協議会定時総会及び講演会

[5.10/於:札幌プリンスホテル]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:函館税関長 牧谷邦昭氏

##### 小樽地区協議会定時総会及び講演会

[5.11/於:ホテルノルド小樽]

◎演題:同上

◎講師:同上

##### 苫小牧地区協議会定時総会及び講演会

[5.17/於:グランドホテルニュー王子]

◎演題:同上

◎講師:同上



牧谷函館税関長講演(苫小牧)

##### 室蘭地区協議会定時総会及び講演会

[5.18/於:室蘭プリンスホテル]

◎演題:同上

◎講師:同上

##### 青森地区協議会定時総会及び講演会

[5.21/於:アップルパレス青森]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:函館税関調査部長 石井伸人氏

##### 八戸地区協議会定時総会及び講演会

[5.22/於:八戸グランドホテル]

◎演題:同上

◎講師:同上

##### 釜石・大船渡地区協議会定時総会及び講演会

[5.22/於:釜石ベイシティホテル]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:函館税関業務部長 福田敏行氏



福田業務部長講演(釜石・大船渡)

##### 秋田地区協議会定時総会及び講演会

[5.25/於:秋田ビューホテル]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:函館税関監視部長 小林茂氏

#### 【6月】

##### 函館支部定時幹事会及び事業報告会・講演会

[6.7/於:フォーポイントバイシェラトン函館]

定時幹事会は、本部から富山総務部長をお迎えし、支部役員27名の出席を得て審議が行われ、事務局提案の議案は全会一致で承認されました。

144名の支部会員が出席して開催された事業報告会では、久保支部長の挨拶、定時幹事会承認事項の事務局報告の後、本部富山総務部長の挨拶があり、来賓の牧谷函館税関長からは、祝辞を頂戴したのに続き、税関が取り組む多くの課題の中から、近年特に力を注いでいる「訪日外国人旅行者急増への対応」及び「金地金の密輸入に関する最近の動向」と題した講演を頂き、参加した会員は興味深い話に熱心に聞き入っていました(P.4参照)。



事業報告会



久保函館支部長挨拶



本部富山総務部長挨拶

##### 根室地区協議会定時総会及び講演会

[6.11/於:根室商工会館]

◎演題:「最近における貿易動向・税関行政について」

◎講師:根室税関支署長 阿部史典氏

### ■今後の予定

#### 【2018年8月】

『函館支部広報臨時号』発行

## 東京支部

### ■主な活動

#### 【2018年5月】

##### 輸出入者向けNACCS業務説明会

[5.10、11/於:NACCSセンター会議室]

◎講師:輸出入・港湾関連情報処理センター(株)職員

NACCSセンター及び横浜支部との共催により5月10日(木)、11日(金)の2日間、主に輸出入者の方が利用するNACCS業務について説明会を開催したところ、約40名の参加がありました。参加者からの質問も多く、好評な説明会となりました。



NACCS業務説明会風景

##### 経済連携協定の原産地規則セミナー

[5.16/於:青海フロンティアビル会議室]

◎講師:東京税関業務部総括原産地調査官部門職員

「経済連携協定(EPA)に係る原産地規則の概要」をテーマとして5月16日(水)、セミナーを開催したところ、約80名の参加がありました。食品関係の事例説明に加え、原産地申告書の作成演習なども取り入れた内容で、受講者からは、「良く理解できた」「申告書作成はとても勉強になった」などと好評でした。



原産地規則セミナーを受講される皆さん

## 【6月】

教育セミナー「実地研修(東京港)」(本部共催)

[6.15/於:東京港]

教育セミナー「実地研修(成田空港)」(本部共催)

[6.21/於:成田空港]

## 【7月】

第68回定時常任幹事会・事業報告会・講演会

三団体合同懇談会

[7.20/於:ホテルインターコンチネンタル東京ベイ]

第68回東京支部定時常任幹事会及び事業報告会・講演会は7月20日(金)、「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」(港区海岸)において開催されました。

### (1) 定時常任幹事会

午後3時から定時常任幹事会を開催し、支部役員のほか、協会本部から高橋理事長及び田中専務理事にご出席いただき、渡辺支部長の議長により、①平成29年度事業報告、②平成29年度収支決算報告、③平成30年度事業計画、④平成30年度予算、⑤役員の改選について審議していただき、その結果、各議案ともに原案どおり全員一致で承認されました。

### (2) 事業報告会

事業報告会には約90名の会員の方に参加していただき、渡辺支部長から定時常任幹事会において承認された内容について報告が行われました。

### (3) 講演会

事業報告会終了後、同じ会場においてコンサルビューション株式会社代表取締役社長 高原彦二郎氏を講師にお迎えし、「海外事業成功のためのグローバル・ビジネスリスクマネジメント」と題した講演会を開催しました。支部役員、会員をはじめ、東京税関幹部、関係団体役員など約180名の方に参加していただき、実例などを交えた興味深い講話を拝聴することができました(P.6参照)。

### (4) 懇談会

続いて、当支部・東京通関業会・東京税関保税会の三団体合同による懇談会には、約200名の関係者が出席し、税関幹部を含む来賓の方々との意見交換及び各団体会員相互の親睦を深め、盛会のうちに散会となりました。



定時常任幹事会



高原彦二郎氏による講演会

## ■今後の予定

### 【2018年8月】

東京支部会員の連絡先調査

セミナーや図書の発行案内等スムーズに行うため、東京支部会員の連絡先に変更等がないか、確認を行います。会員の皆様のご協力をお願いします。

## 【9月】

支部教育セミナー

◎日時:2018年9月21日(金)

◎場所:TKP新橋カンファレンスセンター

◎内容:「2018中国税関の新たな取り組みと動きについて」と題して、東京支部会員向けにセミナーを開催

## 【10月】

地区事務局長会議

◎日時:2018年10月26日(金)

◎場所:東京港湾合同庁舎内 日本関税協会東京支部事務室

## 横浜支部

### ■主な活動

### 【2018年5月】

東日本海事人研修:貿易一般・港湾運送

[5.17/於:横浜市波止場会館]

◎講師:横浜支部事務局長

2018年5月17日(木)、海事検査人養成協議会東日本地区部会の依頼に基づき、貿易一般および港湾運送の実務についての説明を行いました。検数業務等に従事する職員の知識、技能の維持・向上を目的とした研修会であり、約120名の研修生が熱心に取り組んでおりました。

経済連携協定の原産地規則セミナー

[5.31/於:横浜市波止場会館]

◎講師:東京税関業務部総括原産地調査官

2018年5月31日(木)、東京税関業務部総括原産地調査官に講師をお願いし、「経済連携協定(EPA)に係る原産地規則の概要」と題したセミナーを開催しました。

当日は、原産地規則の概要と輸入食料品の事例を中心に約4時間にわたり実施し、約70名の参加者からは好評を得ました。



講師(東京税関の職員)

支部教育セミナー「港と税関業務」

[6.5/於:宮城県トラック協会塩釜輸送センター]

◎講師:横浜支部事務局長

2018年6月5日(火)、宮城地区税関協議会のご協力を得て、税関協議会の会員店社の新入社員又は税関業務の経験が浅い社員等を対象に、税関業務の概要についての教育セミナーを宮城県塩竈市において実施しました。

当日は、日本関税協会の会員・非会員を併せると、33社・55名に参加を頂きました。

## 【7月】

第69回定時支部幹事会

[7.24/於:ローズホテル横浜]

定時支部幹事会は、本部から田中専務理事にご出席を頂き、寺澤支部長の開会の挨拶後、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算(案)等が審議され、全会一致で承認されました。



寺澤支部長開会挨拶

## 【5月～7月】

## 通関協議会

本関地区ほか13官署において、計34回開催。

## 海務協議会

本関地区ほか2官署において、計5回開催。

## ■今後の予定

## 【2018年9月】

## 支部地区担当者会議

◎日時:2018年9月6日(金)

◎場所:ローズホテル横浜

## 【10～12月】

## 支部地区会員懇談会

- ・横浜地区会員懇談会
- ・栃木地区会員懇談会
- ・茨城地区会員懇談会
- ・福島地区会員懇談会
- ・宮城地区会員懇談会

## 名古屋支部

## ■主な活動

## 【2018年5月】

## 名古屋税関保稅会総会

[5.16/於:名古屋マリオットアソシアホテル]

第42回通常総会を開催いたしました。懇談会・講演会には202名の会員に出席していただき和やかな交歓のうち親睦を深めて盛会に終了いたしました。

## AEO研修(東海地区)

[5.28/於:名古屋国際会議場]

東海地区で初めての「AEO研修」が開催されました。当日は事前の申し込みのあった研修生36名が「AEO制度の概要」、「税関の役割と取り巻く環境」などの説明を最後まで熱心に聴講しました。



研修風景

## 【6月】

## 名古屋支部幹事会・会員懇談会・講演会

[6.7/於:名古屋観光ホテル]

廣瀬行成名古屋税関長及び本部から田中万平専務理事をお迎えし、会員懇談会・講演会が開催されました。講演会では東海大学教授 石原伸志氏より、「最近の国際物流のトピックについて—申告官署の自由化・貿易手続きに係る官民協議会を踏まえて—」の演題で1時間15分講演をいただきました(P.3参照)。懇談会・講演会には207名の多くの会員等が出席して和やかな交歓のうち親睦を深めて盛会に終了しました。



幹事会



石原伸志講師



田中万平専務理事



副支部長 藤森利雄氏挨拶

## ■今後の予定

## 【2018年9月】

## 諏訪地区懇談会

◎日時:2018年9月25日(火)

◎場所:紅やホテル

## 【10月】

## 保稅事務研修会(初任者対象)

◎日時:2018年10月9日(火)、10日(水)

◎場所:名古屋港湾会館2F

## AEO研修(本部主催)

◎日時:2018年10月16日(火)

◎場所:名古屋港湾会館2F

## 商社懇談会

◎日時:2018年10月18日(木)

◎場所:名古屋マリオットアソシアホテル

## 税関実務研修会

◎日時:2018年10月26日(金)

◎場所:名古屋港湾会館2F

## 【11月】

## 保稅蔵置場・工場部会幹事会

◎日時:2018年11月6日(火)

◎場所:名古屋港湾会館3F

## 大阪支部

## ■主な活動

## 【2018年5月】

## 南大阪地区会総会・講演会

[5.9/於:アゴーラリージェンシー堺]

## 和歌山地区会総会・講演会

[5.15/於:ダイワロイネットホテル和歌山]

## 舞鶴・宮津地区会総会・講演会

[5.17/於:ホテルマーレたかた]

## 関空地区会総会・講演会

[5.24/於:関西空港会議場]

## 福井地区会総会・講演会

[5.31/於:ユアーズホテルフクイ]

## 各地区会講演会

◎演題:「関税政策・税関行政について」

◎講師:大阪税関長 高木隆氏

新人保税事務研修会(保税南港会)

[5.10]

関空保税会定例会

[5.15]

【6月】

第69回大阪支部定時幹事会、総会、講演会

[6.6/於:ホテル日航大阪]

時局講演会

◎演題:「2020年問題とグローバル・ビジネス—人口激減・マーケット縮小時代の日本の貿易—」

◎講師:岐阜聖徳学園大学教授 河野公洋氏(P.3参照)



支部長 板元龍三氏



田中万平専務理事



河野公洋氏



懇談会

保税南港会総会

[6.1]

滋賀保税会保税研修会

[6.12]

和歌山保税会総会

[6.14]

関空保税会保税事務講習会

[6.20]

泉州地区通関業務研究会総会

[6.25]

大手前保税会総会

[6.29]

【7月】

事務局担当者意見交換会

[7.10/於:アートホテル大阪ベイタワー]

関空保税会定例会

[7.18]

教育セミナー「貿易実務(基礎編)」(本部主催)

[7.12/於:新梅田研修センター]

教育セミナー「通関手続」(本部主催)

[7.30/於:新梅田研修センター]

■今後の予定

【2018年8月】

教育セミナー「貿易取引の英文レター」(本部主催)

◎日時:2018年8月29日(水)

【9月】

AEO研修(本部主催)

◎日時:2018年9月10日(月)

関空保税会幹事会

◎日時:2018年9月12日(水)

関空保税会定例会

◎日時:2018年9月19日(水)

【10月】

AEO事業者連絡協議会分科会

◎日時:2018年10月15日(月)

教育セミナー「関西国際空港実地研修」(本部主催)

◎日時:2018年10月(予定)

神戸支部

■主な活動

【2018年5月】

第54回 徳島協議会 定時総会・講演会

[5.8/於:ホテルクレメント徳島]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関長 御園生功氏

通関部会 定時総会

[5.10(姫路)]

第58回 新居浜協議会 定時総会・講演会

[5.10/於:リーガロイヤルホテル新居浜]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関長 御園生功氏

第49回 今治協議会 定時総会・講演会

[5.11/於:今治国際ホテル]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関長 御園生功氏



講演会

第51回 高知協議会 定時総会・講演会

[5.15/於:城西館]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関総務部長 上川純史氏

通関連絡会

[5.15(新居浜)]

第58回 香川協議会 定時総会・講演会

[5.16/於:オークラホテル丸亀]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関総務部長 上川純史氏

保税部会西播磨地区部会 定時総会

[5.16(姫路)]

税関業務説明会

[5.18(今治)]

第51回 広島協議会 定時総会・講演会

[5.18/於:リーガロイヤルホテル広島]

◎演題:「税関行政について」

◎講師:神戸税関長 御園生功氏



第49回 松山協議会 定時総会・講演会  
[5.22/於:アイテムえひめ]  
◎演題:「税関行政について」  
◎講師:神戸税関総務部長 上川純史氏



神戸税関総務部長 上川純史氏

#### 通関実務担当者意見交換会

[5.23(境港)]

#### 東播磨地区保税部会 定時総会

[5.25(姫路)]

### 【6月】

#### 第69回 神戸支部定時総会・幹事会・講演会

[6.12/於:ホテルオークラ神戸]

支部総会には209名が出席、平成29年度事業結果・決算、30年度事業計画・予算等が審議され承認されました。総会に引き続き講演会が開催され、御園生神戸税関長から「税関行政について」と題した講演をいただきました(P.5参照)。



幹事会



支部長 数本信裕氏



講演会



副支部長 後藤博史氏挨拶

#### 税関業務説明会

[6.15(香川)]

#### 税関実務講習会

[6.19(姫路)]



講習風景

#### 通関連絡会

[6.19(新居浜)]

#### 保税業務新任者研修会

[6.20, 21(神戸)]

新規研修として保税業務経験2年以内の方を対象とした研修会を実施し、190名の受講者がありました。



講師



講師



熱心に聴講される皆さん

#### 通関部会定時総会

[6.29(宇野)]

### 【7月】

#### 通関連絡会

[7.17(新居浜)]

#### 税関幹部との意見交換会

[7.25(徳島)]

#### 保税部会総会

[7.26(福山)]

#### 税関業務説明会

[7.26(福山)]

『姫路協議会報(第73号)』発行

[7.31(姫路)]

### ■今後の予定

### 【2018年8月～】

#### 保税業務説明会

#### 協議会事務局会議

#### 税関との意見交換会

#### 保税業務新任者研修会

#### 保税内部監査人研修会

#### 原産地規則セミナー

## 門司支部

### ■主な活動

### 【2018年5月】

#### 教育セミナー「博多港実地研修」(本部主催)

[5.16/於:博多港及び周辺施設(福岡市)]

博多港見学会は、九州の港湾では初めての企画ということもあり、北は北海道から南は鹿児島県から総勢20名(満席)の参加者がありました。

港に勢いを感じる博多港の概論を勉強し、税関の検査場、コンテナターミナル等の施設や普段目にすることがない海上からの博多港を視察するなど、充実した内容に参加者は満足されていました。



アイランドシティ コンテナヤード見学風景

#### 保税実務担当者研修会(徳山地区)

[5.16/於:徳山港湾合同庁舎(周南市)]

◎講師:門司税関監視部 新屋保税地域監督官

◎講師:門司税関監視部 松永実務指導官

#### 【6月】

##### 平成30年度定時幹事会

##### 平成30年度保税部会役員全体会議

##### 平成30年度定時支部総会

[6.11/於:ステーションホテル小倉(北九州市)]

支部総会には約260名が出席、平成29年度事業活動報告、決算報告、30年度の事業計画、予算案、役員の改選等について満場一致で承認されました。



定時幹事会



門司支部長 利島康司氏 開会挨拶



門司税関長 郡山清武氏 来賓挨拶



日本関税協会専務理事 田中万平氏挨拶

#### 時局講演会

[6.11/於:ステーションホテル小倉(北九州市)]

◎演題:「内外経済情勢と地域経済の現状等について」

◎講師:日本銀行北九州支店前支店長 緒方公一氏

世界と日本、九州と東京・大阪圏の緻密な経済状況の比較・分析に基づく現状を論理的に説明し、北九州の今後目指すべき方向性を示していただいた講演会は、参加者の好評を博していました(P.4参照)。



日本銀行北九州支店前支店長

緒方公一氏 講演

#### 保税実務担当者研修会(洞海地区)

[6.18/於:戸畑税関支署(北九州市)]

◎講師:門司税関監視部 新屋保税地域監督官

◎講師:門司税関監視部 松永実務指導官

#### 保税実務担当者研修会(西山ロブロック)

[6.22/於:下関海陸運送株式会社(下関市)]

◎講師:門司税関監視部 新屋保税地域監督官

#### 【7月】

##### AEO研修

[7.9/於:福岡県中小企業振興センター]

◎講師:日本関税協会調査・研究部長 松本敬氏

客員研究員・講師 宮崎千秋氏

九州エリアでは初めてのAEO研修が本部主催により開催されました。当日は、西日本豪雨の影響で研修教材が会場に届かず、また、広島方面からの参加予定者が参加できなくなるなどのハプニングがありましたが、AEO事業者が必要とされる通関手続きやAEO制度についての研修が行われました。

参加者(15名)からは、内容が充実した良い研修でしたとの声をたくさんいただきました。



研修風景

#### ■今後の予定

#### 【2018年9月】

##### AEO九州地区分科会

◎日時:2018年9月14日(金)

◎場所:福岡県中小企業振興センター(福岡市)

◎主催:日本関税協会

#### 【10月】

##### 北九州地区懇談会・講演会

◎日時:2018年10月1日(月)

◎場所:ステーションホテル小倉(北九州市)

##### 厳原地区懇談会・講演会

◎日時:2018年10月5日(金)

◎場所:対馬交流センター(対馬市)

##### 下関地区懇談会・講演会

◎日時:2018年10月12日(金)

◎場所:下関グランドホテル(下関市)

##### 宇部地区懇談会・講演会

◎日時:2018年10月17日(水)

◎場所:宇部興産ビル(宇部市)

#### 【11月】

##### 徳山地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月7日(水)

◎場所:ホテルサンルート徳山(周南市)

##### 岩国地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月8日(木)

◎場所:岩国国際観光ホテル(岩国市)

##### 伊万里・唐津地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月14日(水)

◎場所:伊万里グランドホテル(伊万里市)

##### 萩地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月19日(月)

◎場所:高大(萩市)

##### 博多・福岡空港地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月22日(木)

◎場所:ハイアットリージェンシー福岡(福岡市)

##### 細島地区懇談会・講演会

◎日時:2018年11月29日(木)

◎場所:ホテルベルフォート日向(日向市)

## 長崎支部

## ■主な活動

## 【2018年5月】

## 平成30年度第1回保税業務講習会

[5.8/於:八代市厚生会館(八代市)]

[5.11/於:佐世保港湾合同庁舎(佐世保市)]

[5.25/於:三池港物流センター(大牟田市)]

長崎税関監視部 飯田保税地域監督官及び江上調査官から保税業務の経験が浅い方を対象に、保税実務の基礎を中心に説明をいただきました。

## 貿易実務講座(基礎応用編)

[5.29、30/於:佐世保商工会議所(佐世保市)]

門司支部、ジェトロ長崎、長崎県貿易協会などの関係団体との共催による貿易実務講座を佐世保市で開催しました。貿易実務の基本的な要素と各種手続きの講義ほか、注文書やINVOICE作成などの演習を交えた分かりやすい解説に、参加者は熱心に聴講し、質問も多数出されました。



講師のユーモアに溢れた講義

## 「関税メールプレス」発行:5回

## 【6月】

## 平成30年度定時幹事会

## 平成30年度支部総会

[6.15/於:ザ・ホテル長崎(長崎市)]

定時幹事会では、平成29年度事業報告・決算報告及び平成30年度事業計画・予算案の審議が行われ全会一致で承認されました。

支部総会は、宮脇支部長の開催挨拶、協会本部松本部長の挨拶に引き続き、幹事会で承認された平成30年事業計画等について事務局から報告がありました。

引き続き行われた講演会には、元長崎税関長で公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター理事長の関莊一郎氏から講演をいただき、例年を上回る多くの会員の皆様にご出席いただきました(P.5参照)。



開催挨拶 長崎支部長 宮脇雅俊氏



定時幹事会



支部総会



講演会の様子

## 「関税メールプレス」発行:2回

## 【7月】

## 高校生向け貿易実務講座(入門編)

[7.3/於:川島学園 尚志館高等学校(志布志市)]

長崎支部と税関志布志出張所との共催で、川島学園尚志館高校の3年生約200名を対象に、I部で「薬物乱用防止」について、II部で「貿易実務講座・入門編」を実施しました。

当日は、折からの台風接近に伴い時折風雨が強まるという天候でしたが、生徒の皆さんは熱心に聴講されていました。



熱心に聴講される尚志館高校の皆さん

## 長崎港ポートセミナー(長崎会場)

[7.25/於:長崎商工会議所(長崎市)]

長崎市・長崎港活性化センターなどの関係団体との共催による長崎港ポートセミナーを長崎市で開催しました。I部のセミナーでは助成制度や長崎港のPR、II部の相談会では海外との取引に関する様々な相談にベテランの通関業者等がアドバイスをを行いました。

## 「関税メールプレス」発行:4回

## ■今後の予定

## 【2018年8月】

## 長崎港ポートセミナー(諫早会場)

◎日時:2018年8月2日(木)

◎場所:諫早商工会議所(諫早市)

## 「関税メールプレス」発行

## 【9月】

## 第43回合同飼料分科会

◎日時:2018年9月10日(月)

◎場所:パレスイン鹿児島(鹿児島市)

## 三池地区会員講演会・懇談会

◎日時:2018年9月13日(木)

◎場所:三井港倶楽部(大牟田市)

## 長崎コンベンションセミナー

◎日時:2018年9月14日(金)

◎場所:サンプリエール(長崎市)

## 長崎地区会員講演会・懇談会

◎日時:2018年9月26日(水)

◎場所:サンプリエール(長崎市)

## 「関税メールプレス」発行

## 【10月】

## 佐世保地区会員講演会・懇談会

◎日時:2018年10月11日(木)

◎場所:アイトワ(佐世保市)

## 貿易実務講座(入門・税関手続編)

◎日時:2018年10月16日(火)

◎場所:薩摩川内市役所(薩摩川内市)

## 「関税メールプレス」発行

## 沖縄支部

### ■主な活動

#### 【2018年5月】

##### 支部講演会

[5.17/於:ホテルロイヤルオリオン(那覇市)]

◎演題:「最近の税関行政について」

◎講師:沖縄地区税関長 若林仁氏

沖縄地区税関長 若林仁氏をお招きし、「最近の税関行政について」と題した講演会を開催しました。講演会では、貿易動向、国際情勢、法改正などの税関を取り巻く最近の状況について、全国税関全体の話と沖縄地区税関関係の話を分けて説明されました。貿易円滑化への取り組みや入国旅客数の激増に対する取り組みなど、沖縄地区税関が抱える課題とそれらに向けての対応など、貴重な内容が盛り込まれており、同講演会に参加した約40名の会員が熱心に聞き入っておりました(P.2参照)。



熱心に聞き入る参加会員の皆様



講演される若林税関長

#### 【7月】

##### 支部定時幹事会・支部定時総会

[7.19/於:ホテルロイヤルオリオン(那覇市)]

第45回支部定時総会では、協会本部から魚総務部長代理をお迎えし、支部会員約50名の出席のもと開催されました。総会では、安里支部長の開会の挨拶の後、平成29年度事業報告等6議案が審議され、原案どおり全会一致で可決・承認されました。

引き続き行われた懇談会には、吾住沖縄地区税関長をはじめ、税関幹部の方々にご出席をいただき、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。

### ■今後の予定

#### 【2018年9月～10月】

##### 支部会員名簿発行

##### 支部講演会

◎日時:2018年10月18日(木)

◎場所:九州・沖縄トラック研修会館5F大教室

◎演題:「中国の昨今の国際・国内物流事情」(仮題)

◎講師:山九株式会社国際物流推進部 参与 日比浩二氏

## 関プレ HEADLINE

### 関プレHEADLINEとは？

- ・ご登録いただいたメールアドレスに、《KanPress》※の新着記事タイトルや協会からのお知らせをご案内するサービスです。
- ・メールアドレスとパスワードを入力するだけでご登録が可能です。
- ・原則として、平日の午前中に配信予定です。

**KanPress:** 従来、紙媒体でお届けしていた『関税週報』をWebサイトに移行した有償サービスで、年月や記事種別、キーワードから直近3年の記事を検索することが可能です。詳しくは、日本関税協会のWebサイト(<http://www.kanzei.or.jp/>)をご参照下さい。

《KanPress》をご利用になられていない賛助会員の皆様におかれましては、ぜひこの機会に《KanPress》のご利用、《関プレHEADLINE》へのご登録をご検討いただきますようお願い申し上げます。

《関プレHEADLINE》の配信をご希望の方は、下記URLにアクセスのうえ、メールアドレスをご登録ください。

[https://www.kanzei.or.jp/mm\\_members/apply.php](https://www.kanzei.or.jp/mm_members/apply.php)

公益財団法人 日本関税協会  
JAPAN TARIFF ASSOCIATION

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F  
TEL ▶ 03-6826-1430 FAX ▶ 03-6826-1432  
URL ▶ <http://www.kanzei.or.jp/>

# AEO研修のご案内

## —AEO事業者には研修が義務づけられているのをご存知ですか？—

AEO事業者には貨物の安全管理と法令遵守を確保するため、従業員に対し、定期的かつ継続的に研修を行うことが義務づけられていますが、「社内研修がマンネリ化している」「社内では満足な研修を行えていないので外部研修があれば活用したい」といった声を数多くいただいております。

今般、日本関税協会では、こういった多くのAEO事業者様の悩みを解消すべく新しく「AEO研修」をご用意いたしました。

AEO研修は、適正通関に必要な基礎的な知識及びAEO制度に関する必要な情報から構成されており、すでにAEOを取得された事業者様のみならず、AEO取得を目指しておられる企業様にもお役に立てる内容となっております。ぜひご活用をご検討ください。

### 【講座内容】

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 午前 (9:30-12:30)  | 午後 (13:30-17:00) |
| ・ AEOと税関を取り巻く環境  | ・ 関税評価制度         |
| ・ AEO制度の概要と輸出入手続 | ・ AEO制度とセキュリティ   |
| ・ 関税分類           | ・ AEO制度とコンプライアンス |

### 【受講料】

一般価格 18,000円/名 (教材費・消費税込)

会員価格※ 13,000円/名 (教材費・消費税込)

※ 日本関税協会賛助会員、貿易実務部会員、又はCIPIC会員の方で、研修日当日に会員資格を有している方

### 【名古屋会場】

日時：2018年11月12日 (月)

時間：9:30-17:00

場所：名古屋国際会議場

(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)

### 【東京会場】

日時：2018年12月11日 (火)

時間：9:30-17:00

場所：連合会館

(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

POINT①

通関とAEO実務を網羅したオリジナルテキストで通関実務未経験者にも丁寧に解説します。

POINT②

受講終了時に「修了証」を発行。

### 【講師紹介】 講師は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

松本 敬：1973年大蔵省(現財務省)入省(神戸税関)。財務省税関研修所教官、インドネシア関税局長政策顧問(JICA専門家)、関税局課長補佐(APEC担当)、WCOアジア太平洋キャパシティビルディング事務所長、関税国際交渉専門官、WCO事務局対外調整官、大阪税関総務部長などを経て退官。WCOに8年間勤務しAEO制度の導入支援等多くのキャパビルに従事。現在は、日本関税協会調査・研究担当部長兼CIPIC事務局長。WCO認定専門家(税関業務診断、通関所要時間調査)。青山学院大学経営学研究科で教鞭を執る。

宮崎千秋：1966年大蔵省(現財務省)入省(門司税関)。行政官在外研究員(米国派遣)、関税局課長補佐(品目分類担当他)、WCO事務局TA、財務省税関研修所主任教官、関税局特殊関税調査官、同国際協力専門官、東京税関調査保税部次長、神戸税関監視部長、横浜税関業務部長、同監視部長などを経て退官。神奈川大学経済学部非常勤講師。米国税関手続の調査、新関税評価の導入作業、HS導入及び運用、米国スーパー301交渉、京都規約改正作業、ASEAN共通関税率表の作成及び同FTA原産地規則研修教材作成等に深く関与。(著書及び執筆：関税分類、関税評価、貿易の円滑化と税関手続関係等)

浦井茂穂：1978年大蔵省(現財務省)入省(関税局総務課)。関税局課長補佐、財務省税関研修所教官、各税関通関総括担当統括審査官、神戸税関総務部長、財務省税関研修所副所長などを経て退官。現在、日本通運(株)顧問本社AEO監査部門責任者、東京国際大学講師(非常勤)。関税政策の企画・立案、関税率表の作成、通関制度の改正、通関、保税、事後調査等に深く関わる。AEOに関しては幅広い知識と経験を有し、制度・実務の双方に精通している。

### 【お申込方法】

協会WEBサイト → AEO事業者連絡協議会 → AEO研修 → 「参加申込書」に記載のうえ、メールアドレス：jtas\_aeo@kanzei.or.jp まで添付して送信してください。追って請求書を発行いたします。請求書が届きましたら、研修開催日の12営業日前までにご送金ください。お申込送信メールの件名は「AEO研修 会社名」でお願いいたします。

なお、企業様毎にカスタマイズした企業別研修も承っております。ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人 日本関税協会

JAPAN TARIFF ASSOCIATION

調査・研究グループ (担当者：芦村)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4-2 日専連朝日生命ビル6F

TEL：03-6826-1433 FAX：03-6826-1435

URL：http://www.kanzei.or.jp/

# 日本関税協会 全国ネットワーク

## 名古屋支部

〒455-0033  
名古屋市港区港町1-11  
(名古屋港湾会館内)  
TEL:052(653)2722  
FAX:052(653)2724  
<http://www.kanzei.or.jp/nagoya/>

## 函館支部

〒040-0061  
函館市海岸町24-4  
(函館港湾合同庁舎5F)  
TEL:0138(43)3114  
FAX:0138(44)3413  
<http://www.kanzei.or.jp/hakodate/>

## 大阪支部

〒552-0021  
大阪市港区築港4-10-3  
(大阪港湾合同庁舎6F)  
TEL:06(6574)2234  
FAX:06(6574)2292  
<http://www.kanzei.or.jp/osaka/>

## 神戸支部

〒650-0041  
神戸市中央区新港町12-1  
(神戸税関内)  
TEL:078(332)5011  
FAX:078(327)2498  
<http://www.kanzei.or.jp/kobe/>

## 本部

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台3-4-2  
(日専連朝日生命ビル6F)  
TEL:03(6826)1430  
FAX:03(6826)1432  
<http://www.kanzei.or.jp/>

## 東京支部

〒135-0064  
江東区青海2-7-11  
(東京港湾合同庁舎10F)  
TEL:03(3599)1542  
FAX:03(3599)1543  
<http://www.kanzei.or.jp/tokyo/>

## 横浜支部

〒231-0002  
横浜市中区海岸通4-23  
マリビル606号室  
TEL:045(680)1757  
FAX:045(680)1758  
<http://www.kanzei.or.jp/yokohama/>

## 門司支部

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1-3-10(門司港湾合同庁舎5階)  
TEL:093(331)5730  
FAX:093(331)5731  
<http://www.kanzei.or.jp/moji/>

## 長崎支部

〒850-0862 長崎市出島町1-36(長崎税関内)  
TEL:095(825)0557  
FAX:095(825)1748  
<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

## 沖縄支部

〒900-0025 那覇市壺川3-2-6(壺川ビル3階)  
TEL:098(836)6466  
FAX:098(836)6466  
<http://www.kanzei.or.jp/okinawa/>

9月を前に既に発生数が20を超えた台風。頻発する大地震。今、日本列島は相次ぐ自然災害の脅威に晒されています。被害が甚大なばかりでなく、人々が受けた精神的衝撃は計り知れません。この国にとっての宿命ともいえることですが、だからこそ、想定外の事態まで含めたきめ細かな対策が求められるところです。(S)

今年の暑さは災害レベルで、高校野球等、様々な場で暑さ対策が話題となりました。男性用日傘も売上が急増したそうです。かくいう私も、今年は年甲斐?もなく美白に勤しみ、男性用日傘を求めて都内の傘店を何軒もまわったのですが、黎明期ゆえ種類も少なくデザインもイマイチで、あえなく断念。来年に期待です。(k)

大坂なおみ選手が全米テニスで快挙達成。しかし観客のプーイングが物議を醸しました。96年、伊達公子選手対グラフ選手の試合を有明で観た際、日の丸を振り「頑張れ〜!」と大声援を送っていたのが松岡修造選手でした。伊達選手は「あのうるさい奴は誰だ」と思ったそうですが見事に勝利。熱く素敵な観客でした。(K)

## ハーモニー 2018年第3号 (2018 Vol.03 / 通巻第26号)

2018年9月14日発行  
発行所 公益財団法人 日本関税協会  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台3-4-2  
日専連朝日生命ビル6F  
TEL=03-6826-1430  
FAX=03-6826-1432  
URL=<http://www.kanzei.or.jp/>  
禁無断転載